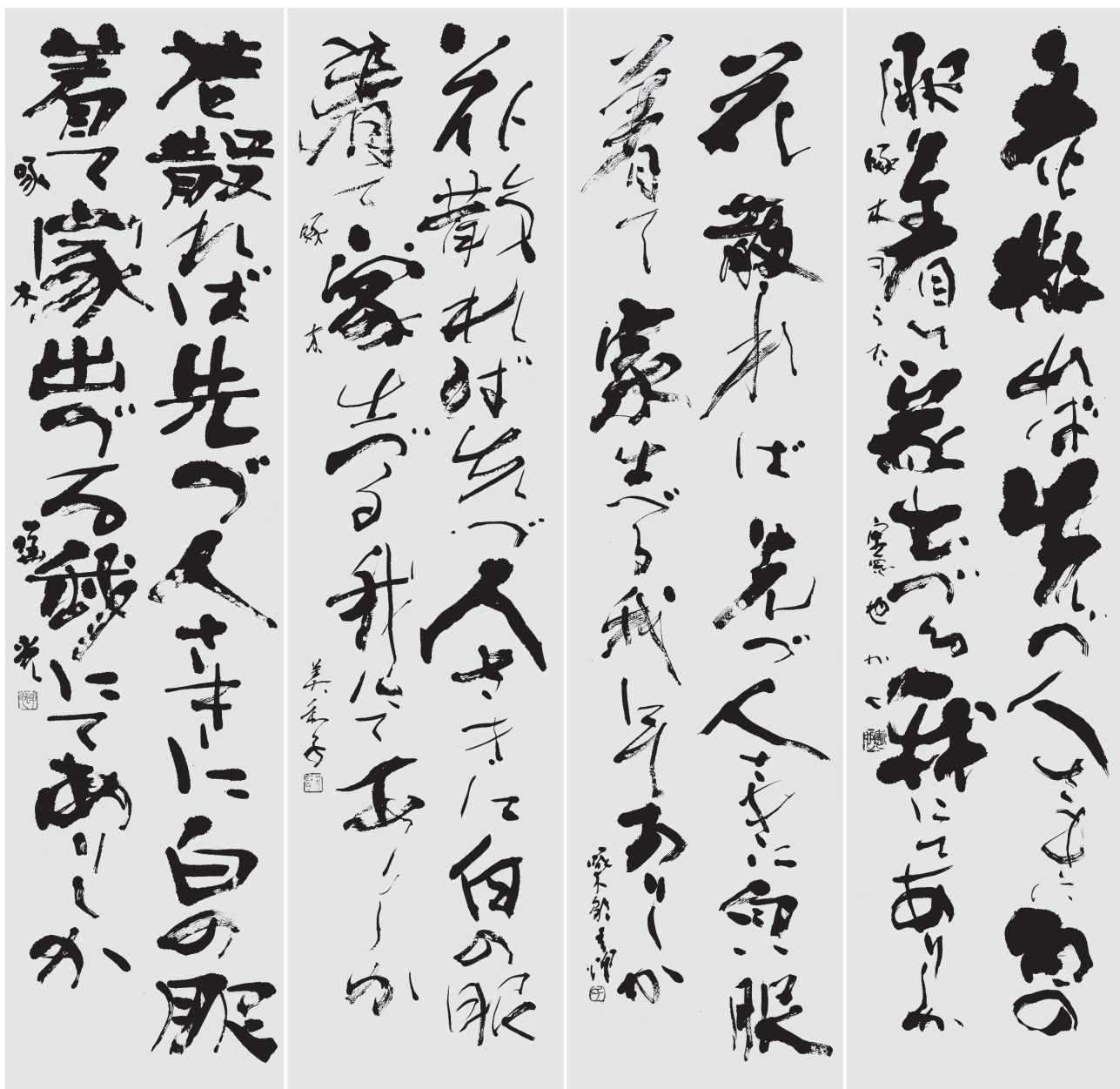


桜井辰雄先生選評



岸田 憲也 推選
観る者を驚掴みにするポイント満載！ここまで両極端の線を一文字の中に組み入れられる大胆なセンスは秀逸。行末が左に流れて見える。印は少々強すぎたか。

小川 青煌 推選
漢字もひらがなにもしっかりとした基盤を覗かせつつ、連綿体はないが明清長条幅を想わせる作品作りは心憎い。下部にいつもの呼吸が見えてしまい残念。

稲橋 美和子 推選
手首の柔らかさに加え、穂先のど、腹、腰と様々な筆の部分を使う実験工房から生まれた愉しさ一杯の作。呼吸を何紹基に学ぶとか、拠り所を見つけてみては？

奥山 嘩光 推選
多墨でしつとりと、木簡隸の雰囲気意識して貫通させた秀作。縦画に作者独特のものがあ、効果的とも単調とも。鷗亭先生「交脚弥勒」が参考になりますね。



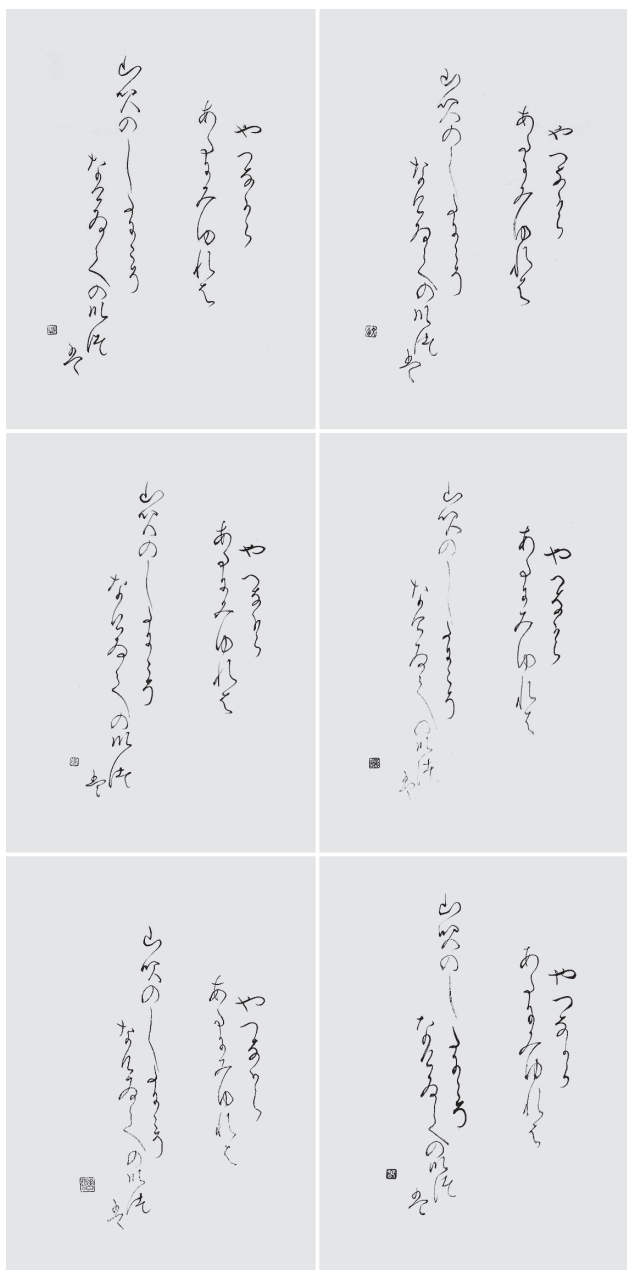
岡野玲子 推選
力まずゆつたりとした運筆。藏鋒を上手に遣い論経書詩の雄大さを充分表現できています。特に「雲」白を多く取り線も深く素晴らしい作品です。印は少し小さいのではないかな。

鈴木暉月 推選
筆圧、墨量充分で重厚感抜群です。「雲」か「峯」でもう少し渴筆が欲しかったのと「雲」の三画目の転折が内側に入りすぎてしまったので文字の中の白が少なくなかった。

壺内姚蘭 推選
浮沈が見事で落ち着いた筆遣いで「峯」の表情、線素晴らしいです。「山」はもう少し太くしたかった。画数の少ない字は小さく太くが鉄則。印が小さく離れ過ぎです。

高久雄一 推選
抑揚、潤渇あり、懐広く逞しい見事な作品です。「山」の一画目少し長すぎて「峯」との字間がなく窮屈に見えてしまった。後印があれば完璧だったのでは。

久保田淳子先生選評



及川漢山 八段
伸びのある線条が
しつかり練れた連
綿線に続き、リズ
ムも加えられた優
雅な空気に包まれ
た作。「山吹のし」
迄の渴筆を生かし
たい。

小宮遥山 六段
文字間に続く連綿
線にそれぞれ意を
感じ、正確な文字
に作者の書作態度
が感じられる。潤
渴の変化が強調さ
れれば微妙な深み
も加わると思う。

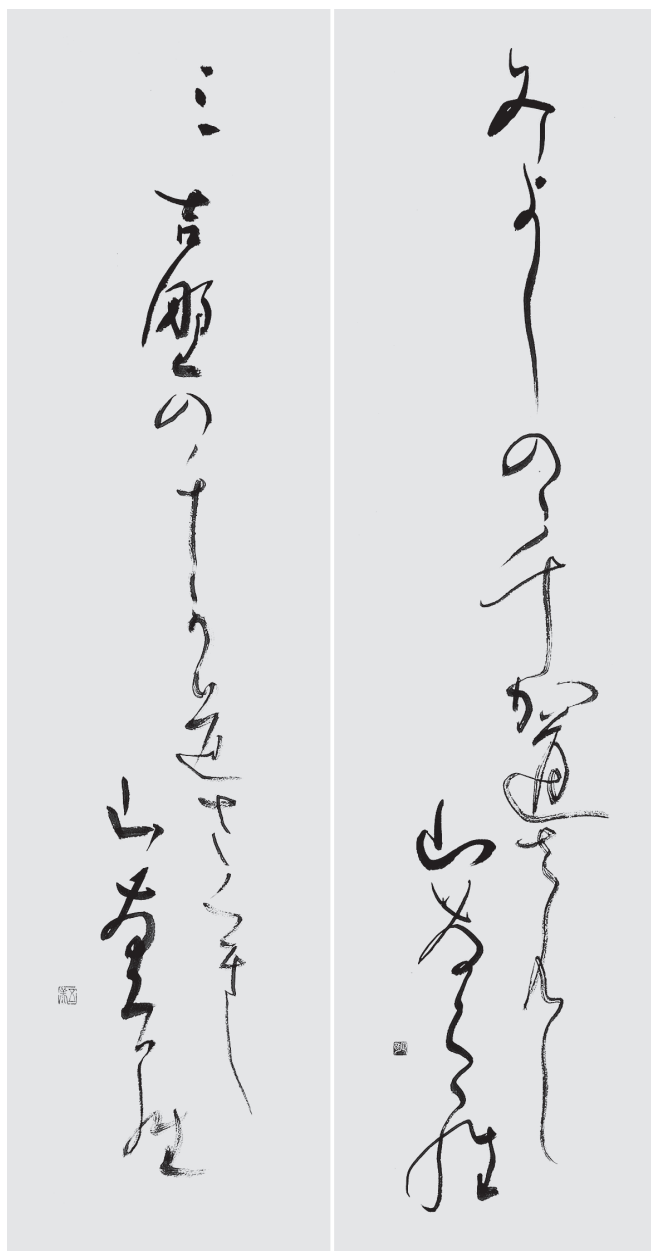
坂本華雪 準六
流れる様な自然の
美しい線条。渴筆
を駆使して、気脈
が通じたまとめ方
が見事。古筆をし
っかり習った賜か
しはらく小島切を
味わって下さい。

工藤文恵 師範
直筆のしつかりし
た運筆で、原帖の
弾力も加え、繊細
さより優美さをよ
り表現して居る。
字間の伸縮、連綿
線に作者の実力を
感じる。

仲彩華 師範
潤渴に気配りしつ
つ繊細な線の中、
典麗さを体現して
居る。原帖に見ら
れる転折の強さが
やや甘く見えるの
が惜しまれる。

戸井春子 準師
全体ふくやかな温
かみある雰囲気
の作。書き出しの
「やへ」が「や」に
見えるのは、筆圧
の変化にも依るの
で習ってみまし
う。

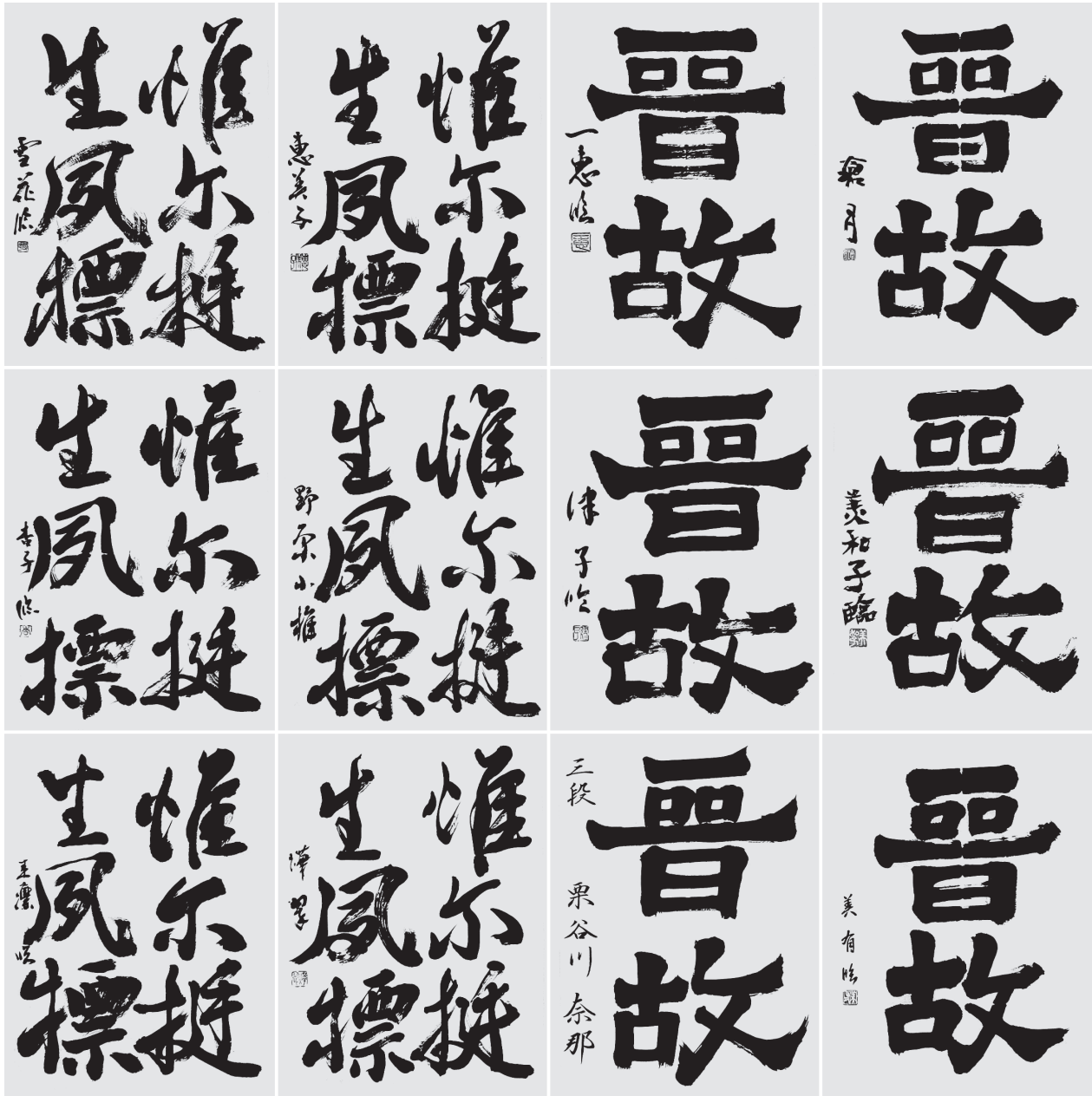
吉田久実子先生選評



五十嵐正明 推選
字形の豊かさと流れの妙は、
古筆を彷彿とさせる。潤渴
のバランスもよく「山散久
羅」は太細の変化見事で温
かい。日頃の錬度の深さを
観る。

前田孝子 推選
流れの中に表出される直線
と曲線の調和佳く、魅せら
れる。漢字の配字も適切。
楚々とした味わいを持つ作
の最後の「羅」の筆の開き
が美しい。

藤田壽樹先生選評



芳賀瑠月 師範

収まり良くまとまっている。「晋」の長い横画や「故」の構えが特に印象的で、作品を引き立てている。墨量は一字目の方が多く見えると自然です。

黒木一恵 五段

原帖の持つ特徴を忠実に真面目に取り組む姿勢が感じられて良い。更に一歩進めて、広く空間を捉えた自在な運筆にも目を向けて頂きたい。

三段 栗谷川奈那

原帖の持つ特徴を忠実に真面目に取り組む姿勢が感じられて良い。更に一歩進めて、広く空間を捉えた自在な運筆にも目を向けて頂きたい。

徳安恵美子 師範

真剣で真面目な臨書態度で好感を持つ。じつくりと沈んだ線は魅力だが、スピードの変化や渴筆にも意を用いると更に奥行きのある作品になる。

奥村雪花 準六

一見墨量をおさえ過ぎとみえるが、見事な渴筆を駆使して暢びやかに書かれている。艶やかな感じさえ受ける。達者な方の魅力に溢れる作品。

稲橋美和子 師範

横画の力強さが際立つ書きぶりで見事です。その横画は、直線的な表現の中に豊かな表情を醸し、スピード感や躍動感があります。

原 律子 四段

構えが大きく、そして太く暢びやかに大胆さの中にもこの碑の特徴を細部まで良く捉えており感心しました。落款の空間や「臨」の字形には注意を。

野原小稚 八段

軽やかな表現に太細の変化を巧みに織り込み、明るく暢びやかな臨書で見事。収まりも落款も完成度が高い。欲を言えば偏旁は今少し離すと良い。

圖師杏子 二段

じつくりと運筆して原帖の持つ重厚な趣の線を上手に表現して成功している。また懐の広さも見逃すことなく佳。落款は狭い所に書き苦しい。

江部美有 準師

太い線でじつくりと運筆した実直な表現に好感を持つ。今後は運筆のリズムやスピード感、渴筆や落款の研究に取り組んで欲しい。飛躍を期待。

栗谷川奈那 三段

墨量が一定になった。しかし運筆のシャープな感じや勢いがある所は魅力です。直線表現である所も良いです。渴筆の研究もして欲しい。

梅本燐翠 準七

顔真卿の書の特徴である偏と旁をゆったりと取った所や、線の丸みを上手く出して佳。紙面が明るく広々としており、落款も素晴らしい。

佐々木圭凜 一級

墨量豊かに、顔真卿の書の特徴の豊かさや厚み、丸みといった特徴を見事に捉えている。細部に亘って観察眼が働き、その姿勢は称賛に値する。